

# 財政 第12部

## 第1章 財政

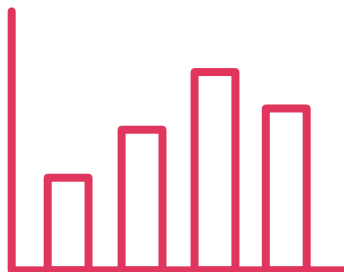
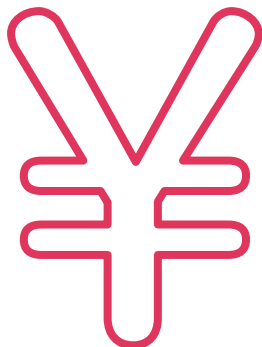
- 204 決算の全体像
- 205 一般会計 歳入・歳出の状況

## 第2章 県税

- 206 主要税目の税収額
- 207 県民1人当たりの県税収入額

## 第3章 市町村財政

- 208 市町村財政力指数
- 209 市町村経常収支比率
- 210 市町村職員の給与水準
- 211 市町村税徴収率





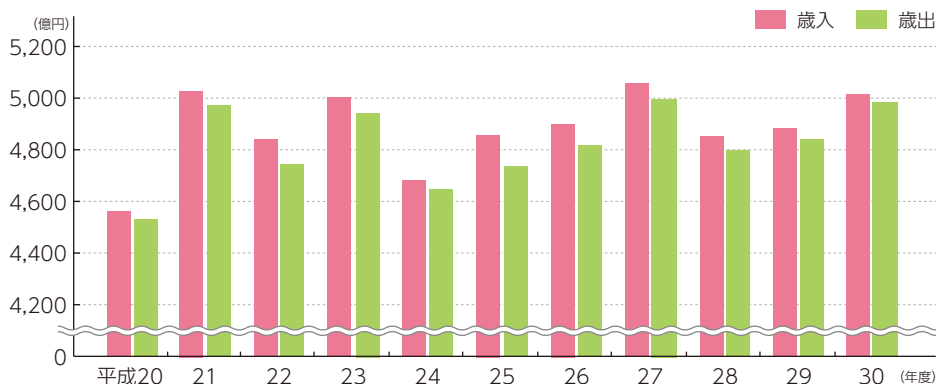
# 決算の全体像

平成30年度決算では、歳入は5,014億円、歳出は4,982億円、実質収支は13億円となりました。

また、県の借金である県債残高は、平成26年度末の10,700億円をピークに、4年連続で減少しました。

## 歳入と歳出の推移

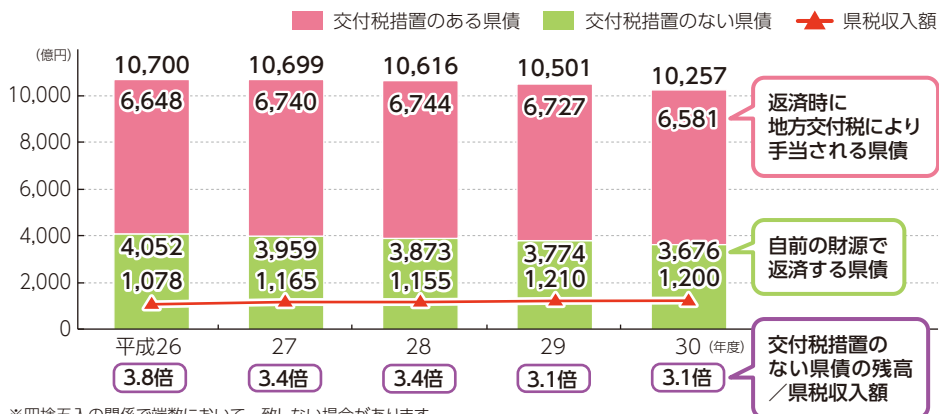
資料:県財政課



県の借金である県債の残高のうち、交付税措置のない県債の残高と県税収入額との比率が上昇しないよう努めています。

## 県債残高および県税収入額の推移

資料:県財政課



※四捨五入の関係で端数において一致しない場合があります。



# 一般会計 歳入・歳出の状況

## 歳入は5,014億円・歳出は4,982億円

平成30年度の一般会計歳入は、県税、地方交付税等の主要な一般財源が、前年度3,652億円から3,664億円と12億円増加しました。また、財産収入は減少したものの、分担金及び負担金、繰入金が増加したこと等により、歳入全体では5,014億円となっています。

平成30年度の一般会計歳出は、人件費が、定年・勧奨退職者数の減による退職手当の減少や教職員定数の見直し等により、前年度1,469億円から1,459億円に減少しました。また、公債費は県債管理基金を活用した臨時財政対策債の繰上償還を行い元金が増加したこと等により、前年度787億円から880億円に増加しました。

普通建設事業費等は、国営農業用水再編対策事業の完了に伴い市町村及び受益者負担金を国に繰上償還したことによる国直轄事業費負担金の増加や、平成30年7月豪雨、台風21号豪雨等により被災した公共土木施設の災害復旧により、前年度647億円から743億円に増加しました。

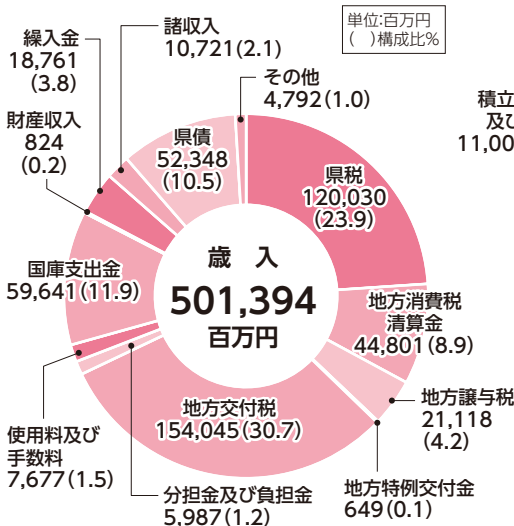
補助費等は、国の社会保障制度に関する経費が引き続き増加しましたが、国民健康保険関係事業費の一部について、県単位化に伴い国民健康保険事業費特別会計で経理（繰出金に変更）することとしたこと等により、前年度1,338億円から1,275億円に減少しました。

積立金は、地域・経済活性化基金積立金が47億円、国民健康保険財政安定化基金積立金が21億円、それぞれ減少したこと等により、前年度163億円から107億円に減少しました。

歳出全体では、4,982億円となっています。

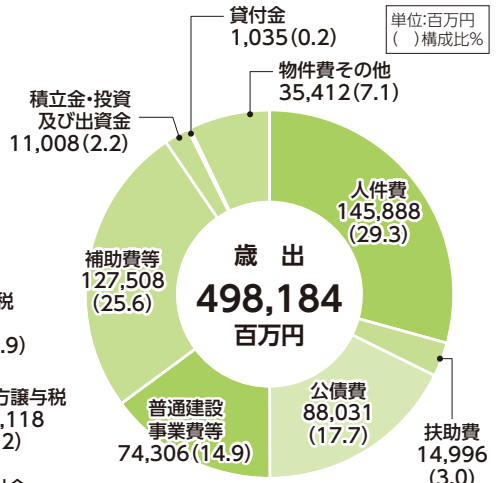
歳入(平成30年度)

資料:県財政課



歳出(平成30年度)

資料:県財政課



※四捨五入の関係で端数において一致しない場合があります。